

山田八景ハイキングコース（後編）

距離：約 5.5km、時間：2 時間 30 分

2018 年 12 月号掲載の前編に続き、山田八景のうち、松平町と棚谷町と国安町に位置する 4 力所を巡ります。山田八景とは、昭和 5（1930）年ごろに地元有志によって選定された、旧山田村（現在の和田町・東連地町・松平町・棚谷町・国安町）の八つの景勝地のことです。室町時代に山入氏一族が本拠を置いたとされる山入城と棚谷城の二つの城跡もそれぞれ選定されています。また、コース上では、山草や野鳥などの自然も楽しむことができます。歴史や自然に想いを馳せながらゆっくり歩いてみてはいかがでしょうか。

2 棚谷城夕照 (棚谷町・棚小屋坪)



山入城のある要害山から、谷を挟んで南の山に棚谷城があった。暦応年間（1338～1341 年）に築城され、のちに山入氏が前衛拠点として活用していたとされる。詩では、夕日に照らされる山に栄枯盛衰をしのぶ様子が詠まれている

栄えてし昔偲へと棚谷城
荒れたる跡に夕日照るなり

3 峯下落雁 (棚谷町・宝来館前)



山田川橋から南を眺めると、山田川と水田が眼下に広がる。詩からは、その水田に雁が降りてくる様子が読み取れる

松風の音静もりし峯下の
小田にぽつぽつ落るかりかね



紹介してくれた地域の皆さん



1 要害山晴嵐 (国安町・山入城)



標高 191.3 m の要害山の頂上に、佐竹氏と対立した山入氏が居城していたとされる山入城跡がある。頂上までの道は、地元の方によって整備されている。詩では、朝もやにそびえる要害山の堂々とした姿が詠まれている

朝もやはおのつと晴れて気高くも
あらわれ出ぬ要害の山



オオバタンキリマメ

4 牛込夜雨 (松平町・牛込)



牛込橋から西を眺めると、小高い場所にある牛込の集落が見える。詩では、雨の日の淋しい情景が詠まれているが、晴天時は美しい里山の景色を見ることができる

瀬の音もいとと淋しく聞ゆなり
雨の降る夜の牛込の里



シロダモ